第2回「復興まちづくり計画」策定へ向けた地区別懇談会時の意見・提案に係る考え方について

令和3年7月7日(水)から7月25日(日)の期間に、第2回「復興まちづくり計画」策定へ向けた地区別懇談会を開催し、グループワークで住まい再建や緊急時における避難場所・避難経路、集落再生へ向けた取り組みなど、たくさんの意見・提案を出していただきました。ありがとうございました。

No.	校区	懇談会意見	回答
1	鮎帰	住まい ・災害リスクが低い場所への移転	―
2	鮎帰	空家が増えているため利活用を	―
3	鮎帰	住まいの再建 現在の住居を基本とする、全員	―
4	鮎帰	住まい ・住宅再建への補助金の助成	―
5	鮎帰	山林の管理が出来ていない、間伐、徐伐等個人に代わって早く実施してほしい。公益的材能の回復を早く。	―
6	鮎帰	特産品つくり	―
7	鮎帰	盆踊り再開	―
8	鮎帰	地区毎にイベントを行う	―
9	鮎帰	たな田の保全のとりくみを通じて地元を元気づけたい	―
10	鮎帰	日光棚田を細々と活動しています。この活動を地域全体のものとしたい。	―
11	鮎帰	ふるさと祭りを復活させてほしい	―
12	鮎帰	近くに病院等があれば	―
13	鮎帰	病院、銀行の再建	―
14	鮎帰	食料品（店舗）の確保	―
15	鮎帰	道路の早期修復	―
16	鮎帰	生活道路を早く再建してほしい	―
17	鮎帰	鮎帰社会教育センターの道がくずれている所がある 早く修復を！	【市道稲入道下・山下線】 災害復旧工事の準備により通行規制を継続しています。復旧工事の発注に向けた準備を行っているところです。ご迷惑をおかけしますが、もうしばらくお待ちください。 (R3.9.27現地確認)
18	鮎帰	河川護岸の整備 谷川の川幅の拡張	―
19	鮎帰	・河川護岸の崩壊部の回収 ・河川両岸のかさ上げ ・河川川底の掘削 ・橋の嵩上げ ・危険橋梁の取り外し	―
20	鮎帰	登俣公民館近く　岩の撤去 辻川、登俣川近く 県南　満田	登俣川近くの油谷川の岩の撤去は県で業者に依頼中です。
21	鮎帰	・道路（鮎帰社会教育センター）前の道路崩壊 ・水の流れが岩に当たって代わり家屋が危ない →岩撤去	―
22	鮎帰	谷川整備	―
23	鮎帰	県道の整備	―
24	鮎帰	川の整備	―
25	鮎帰	部落内の道の舗装をお願いしたい 登俣部落 園川	【市道大平・登俣線】 災害復旧工事に併せての修繕を予定しています。
26	鮎帰	登俣部落（園川）橋の土台を修理（登俣川と土川の合流地点）	【市道園川・辻線(第一辻橋)】 【登俣川、辻川】 以前に根継工での施工実施した箇所かと思います。パトロール強化による経過観察行うこととしますが、異変等ありましたら、ご連絡ください。（R3.9.27現地確認済）
27	鮎帰	ダム周辺側溝土砂撤去	【市道木折・責線】 路肩・法面崩壊が発生した災害復旧工事箇所は危険であるため、通行規制を行っています。 側溝閉塞や土砂撤去の必要な箇所の現地案内、情報提供をお願いします。 【県道坂本人吉線】 前回より道路管理者である熊本県に情報提供し、対応をお願いしています。
28	鮎帰	登俣川の治水対策をしてもらいたい	―
29	鮎帰	県道と河川の間に住宅（例：●地区山下宅川●谷地区：平野宅）に対する危険度の確認をしてください。	【県管理河川　油谷川】 ご意見にあります具体的な場所の現地案内のご協力をお願いします。施設管理者である熊本県に情報提供し対応をお願いしてまいります。
30	鮎帰	住民周辺の環境の整備 例）森林、川河、道路の幅、その他	―
31	鮎帰	・大平ダムサイトの市道が数年前より落石のため通行止めとなっている（県道の迂回路として使えない）	【市道木折・責線】 落石による事故防止と災害復旧工事の準備により通行規制を継続しています。災害復旧箇所は、工事の発注に向けた準備を行っているところです。ご迷惑をおかけしますが、もうしばらくお待ちください。
32	鮎帰	・消防小屋があるが、迂回している →迂回路についても崩れてきている 鮎帰社会教育センター前の道路の復旧	【市道稲入道下・山下線】 災害復旧工事の準備により通行規制を継続しています。復旧工事の発注に向けた準備を行っているところです。ご迷惑をおかけしますが、もうしばらくお待ちください。 (R3.9.27現地確認) パトロールの強化による情報収集や通行規制、修繕等の対応を行います。迂回路の崩壊箇所は、前回情報提供頂いている稲入橋付近と別の箇所でありましたら、現地案内など情報提供をお願いします。(R3.9.27現地確認)
33	鮎帰	消防小屋前の道の復旧 ポンプが出せない	【市道稲入道下・山下線】 災害復旧工事の準備により通行規制を継続しています。復旧工事の発注に向けた準備を行っているところです。ご迷惑をおかけしますが、もうしばらくお待ちください。 (R3.9.27現地確認) ご不便をおかけして大変申し訳ございません。 市道の復旧工事が完了するまでの間、ポンプ保管場所の移設などによるご協力をお願いします。
34	鮎帰	道路沿い急傾斜地の整備（避難経路の確保）	―
35	鮎帰	新日田橋先 フューム管が詰まって被災した地区あり（馬退谷）（4軒）	【場退谷川】　土石流危険渓流 前回、場退谷の水量減少の原因調査依頼があり現地を確認した経緯があります。集落上部にダムがあり市道を横断する水路があります。現時点では、横断暗渠の閉塞等は確認できませんでした。日常的な維持管理のご協力と今後、降雨等により異常が発見された場合は、現地案内及び情報提供をお願いします。(R3.9.27現地確認)
36	鮎帰	園川公民館から100m下の左岸が100mくらい高さ5mくずれています	【市道大平・登俣線】 災害復旧工事の準備により通行規制を継続しています。災害復旧箇所については、工事発注に向けた準備を行っているところです。ご迷惑をおかけしますが、もうしばらくお待ちください。
37	鮎帰	砂防ダムの土砂撤去	―
38	鮎帰	谷川砂防ダムの流木の撤去 堆積土砂の撤去	―

No.	校区	懇談会意見	回答
39	鮎帰	緊急時の林道を利用するための道路	―
40	鮎帰	避難までの道路整備	―
41	鮎帰	・迂回路がない所があり、作って欲しい（●地区）	―
42	鮎帰	鮎帰・県道を現地盤より嵩上げ	―
43	鮎帰	鮎帰教育センター鮎帰中心部で安全面で一番だと思う 道が狭いため、強化（広げる）してほしい	―
44	鮎帰	緊急時の旧鮎帰小学校のグランドにヘリポートが出来ないか	防災消防航空センター・八代消防本部と協議し坂本町と地形を勘案し、坂本町内全域として総合的に判断したいと考えています。
45	鮎帰	・指定された避難場所が遠くにあり風・雨時は避難が困難であるため、地区内でしかるべき場所を日頃避難場所として考えておく必要がある	―
46	鮎帰	避難場所までの安全	―
47	鮎帰	鮎帰社会教育センターが避難場所に活用できる様、建物の整備とトイレの設置と避難経路の嵩上げをしてもらいたい	トイレの整備については所管課かいと協議を開始しました。避難経路については状況を確認させていただき、関係課かいと協議し検討します。
48	鮎帰	校区内10部落に一次避難場所を！	現在、一次避難所という指定はなく、災害種別ごとに開設する指定避難場所を各地区に指定しております。また、本市全域を範囲として校区に1か所ずつ、公設の自主避難所を設けています。
49	鮎帰	・社会教育センターに避難できない場合もある　地理的に	―
50	鮎帰	避難場所の整備 簡易トイレの増設	―
51	鮎帰	鮎帰全体の第二次避難場所→旧鮎帰小の設備を点検	―
52	鮎帰	八竜小は鮎帰地区の避難所にはなりえない	―
53	鮎帰	小学校区は安全●●避難所として開設のタイミングが分からない	―
54	鮎帰	・辻川と登俣川の合流地点岩撤去を！！ ・避難所の開設、または行けない→ ・備蓄とトイレをどうにかしてほしい	資材の配備について検討します。 トイレの整備については所管課かいと協議をします。
55	鮎帰	避難所のアメニティ　トイレ、物資	―
56	鮎帰	・坂本PAまで歩いて避難した人もいる ・地域で自主的に避難所を開設できれば（備品等があれば）	―
57	鮎帰	避難情報	―
58	鮎帰	災害時、通信の確保	―
59	鮎帰	情報発信、伝達　ドコモの中継設備が悪い	―
60	鮎帰	林道袈裟堂深水線 林道木々子板ノ平線 携帯電話の入らない区域があるので不安	―
61	鮎帰	・防災組織の確立	―
62	鮎帰	・避難訓練の実施	―
63	鮎帰	今年は令和2.7災害を踏まえた避難訓練をやってみようと考えている	―
64	鮎帰	道もかさ上げしてもらわないと避難できない 安心して暮らせない	―
65	鮎帰	各集落の連携	―
66	鮎帰	高速道路建設時にできた、家の裏の擁壁を定期的に点検してほしい	―
67	鮎帰	第三次は高速道路及び八代が望ましい	―
68	鮎帰	ゼンリンP110　鮎帰はヒューム管（県管理）立木　直下が水浸し　4軒　見てもらいたい 県南　満田	【土石流危険渓流　場退谷】 【市道早水・稲入線】 R3.4/16、9/27に周辺の現地確認を行いました。市道を横断する水路の上部にはダム（H7建設　林務砂防）があり、下流の広場には土石流危険渓流「場退谷」の看板がありました。暗渠前後の水位は数cm程度で平常時は水量の少なく油谷川まで続く水路は幅が狭く屈曲しており、護岸は空石積で形成されています。水路の両端には、家屋が建ち並び生活用の渡橋も確認しました。 家屋の浸水被害については、確認できませんでしたが、豪雨や河川の急激な増水により、災害発生の危険性が高まる場合は人命優先、早期の避難をお願いいたします。 今後ともパトロールの実施により観察を行いますが、施設等に変異変状が発見された場合には連絡をお願いします。
69	鮎帰	登俣川の石を割ってあげてもらいたい	登俣川近くの油谷川の岩の撤去は県で業者に依頼中です。
70	鮎帰	出水時に家の下に水が打ち込んで石垣が掘れてしまう コンクリートをつめてほしい	―
71	鮎帰	大平ダムは災害防止に役立っているの？	大平発電所油谷ダムの災害防止の効果については、流域内の河川の状況などを詳細に調査し、評価する必要があり、当社ではわかりかねます。
72	鮎帰	各沢の暗渠の詰まりが大雨毎に起きる	―